|  |  |
| --- | --- |
| 様式第1号(第4条関係) | ※裏面の注意をよく読んでから記入してください。 |

教育・保育給付認定申請書兼保育所等利用申込書

(施設型給付費・地域型保育給付費等)

　神崎町長　　　様

|  |  |
| --- | --- |
| 次のとおり、施設型給付費・地域型保育給付費に係る支給認定を申請します。 | (記入日)　　　　　　　年　　　月　　　日　 |
| 保護者(申請者) | 住所 | 〒神崎町 |
| (フリガナ) | 電話番号 | (自宅) |
| 氏名 | (父) |
| (母) |

【税情報等の提供に当たっての署名欄】

　　町が施設型給付費・地域型保育給付費等の支給認定に必要な市町村民税の情報(同一世帯を含む)及び世帯情報を閲覧すること、また、その情報に基づき決定した利用者負担額について、特定教育・保育施設等に対して提示することに同意します。

保護者氏名　　　　　　　　　　　　　　　　印

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 申請児童 | 氏名 | 性別 | 生年月日 | 　年　月　日現在 |
| (フリガナ) | 男・女 | 年　　　月　　　日 | 年齢歳　 |
|  |
| 利用を希望する保育施設名 | 第1希望 |  | 【希望理由】 |
| 第2希望 |  |
| 保育を希望する期間 | 年　　　　月　　　　日　　　　から　　　　　　年　　　　月　　　　日　　まで |
| 希望利用時間 | 時　　　　分　　から　　　　時　　　　分まで　　標準時間(11時間)・短時間(8時間) |
| 保育を必要とする理由 | 父 | 就労・疾病、障害・看護、介護・災害復旧・求職活動・就学・その他(　　　　　　　　　　) |
| 母 | 就労・妊娠、出産・疾病、障害・看護、介護・災害復旧・求職活動・就学・その他(　　　　　) |
| 【申請児童の家庭状況】 | ※欄が足りない場合は、別の用紙を用いて世帯全員分の状況を記入してください。 |
| フリガナ氏名 | 続柄 | 生年月日 | 性別 | 就労先又は学校名等(電話番号) | 前年分(当年分)市町村民税課税の有無 | 備考 |
|  |  |  | 男・女 |  | 有・無 |  |
|  |  |  | 男・女 |  | 有・無 |  |
|  |  |  | 男・女 |  | 有・無 |  |
|  |  |  | 男・女 |  | 有・無 |  |
|  |  |  | 男・女 |  | 有・無 |  |
|  |  |  | 男・女 |  | 有・無 |  |
|  |
| ＊町記載欄 |
| 受付年月日 | 年　　　月　　　日 |  |
|  |
| 認定の可否 | 認定者番号 | 認定区分等 |
| 可　・　否　(否とする理由)年　　月　　日認定　 |  | □　1号　□　2号　□　3号(□　標　□　短) |
| 支給(入所)の可否 | 支給(利用)期間 |
| 可　・　否　(否とする理由) | 自　　　　年　　月　　日至　　　　年　　月　　日 |
| 入所保育所 | 保育所　 | 備考 |  |

（裏面）

**記入上の注意**

　この申請書は、保護者が次の点に注意し記入のうえ、神崎保育所又は米沢保育所に提出してください。なお、同時に２人以上の児童が申請する場合は、それぞれの児童ごとに１枚の用紙を用いてください。

１．「利用を希望する保育施設名」は希望する順位に従い保育施設名を記入してください。

２．「保育を希望する期間」は、保育が必要と見込まれる期間の範囲内で記入してください。

３．「保育を必要とする理由」は、両親（両親が不在又は両親と別居している場合には、現在児童の面倒を実際に見ている者）が次の表の（１）から（８）までに掲げるいずれの場合に該当するかを判断して、その該当（予定を含む）項目全てを○で囲んでください。

保育の認定基準

　両親のいずれも（両親と別居している場合には児童の面倒を見ている者）が次のいずれかの事情にある場合です。

　（１）就労等　　　　　（家庭外労働）家庭の外で仕事をすることが通常の場合

　　　　　　　　　　　　（家庭内労働）家庭で児童と離れて日常の家事以外の仕事をすることが通常の場合

　（２）妊娠・出産　　　出産前後の場合

　（３）疾病・障害　　　病気や負傷で療養中、又は心身に障害を有している場合

　（４）看護・介護　　　児童の家庭に介護が必要な高齢者や、長期にわたる病人、心身に障害がある者、小児慢性疾患に伴う看護が必要な兄弟姉妹がおり、常時その同居又は長期入院・入所している親族の介護・看護に当たる場合

　（５）災害復旧　　　　火災、風水害、地震等の不幸があり、家屋を失ったり破損したため、災害の復旧に当たる場合

　（６）求職活動　　　　求職活動（起業の準備を含む）を行う場合

　（７）就学　　　　　　就学（職業訓練校等による職業訓練を含む）の場合

　（８）その他　　　　　その他の事情で児童を保育できないと認められる場合

４．「申請児童の家庭状況」は、両親と申請児童以外の同居親族等を記入してください。なお両親は、単身赴任等で別居している場合も記入してください。

５．支給認定及び保育施設の利用については、

　　・保育施設を利用できる基準に該当しないため、利用が認められない場合

　　・希望者が多数いるため、希望する施設が利用できない場合

　　・保育施設を利用できる基準の該当事由により、保育機関の希望に添えない場合　　等

６．次の場合は利用決定の取消し及び保育の解除をすることがあります。

・申請書等の内容に虚偽が判明した場合

・故意に申告しないことが判明した場合　　等

あらかじめご了承ください。